

講演会 フィリピンの科学教育・教師教育

フィリピンでは、学校制度の大改革が進められ、義務教育が13年間（幼1+小6+中4+高2=13）になるとのことです。

PSU (Pangasinan State University) から 3名の研究者をお招きしました。

日時：2015年12月15日(火) 13時～

会場：3301室（教育学部3階）

13:00-13:05	開会挨拶	教育学部教授 鶴岡義彦
13:05-13:35 (13:35-13:50)	講演1 (質疑応答)	<i>Prof. Dr. Wilma M. De Vera</i> K-12 SCIENCE CURRICULUM : PHILIPPINE SETTING
13:55-14:25 (14:25-14:40)	講演2 (質疑応答)	<i>Prof. Dr. Teresita P. Sunga</i> PRE-SERVICE AND IN-SERVICE EDUCATION
14:45-15:15 (15:15-15:30)	講演3 (質疑応答)	<i>Prof. Dr. Raquel C. Pambid</i> SCIENCE EDUCATION IN THE PHILIPPINES SOCIETY
15:30-15:45	意見交換	
15:45-15:50	閉会挨拶	教育学部教授 教育学部教授 藤田剛志(代理・山下修一)

科研:(15H01768)「ASEAN 共生時代の科学技術教員のためのリカレント教育プログラムの開発と評価」の資金援助による。